

てもっとも推計の困難な部分は、第3次産業（特に商業）であることに異論はなからう。このため各研究とも多様な推計方法を駆使してきたが、現状ではそれがはたして成功しているか否か疑問に思うことも少なくない。

その理由はいくつか考えられるが、一つには資料の不足・統計の未整備等によって第3次産業の実態解明が進んでいないことがあげられる。そもそもこの分野は謎が多い、いわば未踏の領域なのである。この場合の統計とは、最終的にはSNA（国民経済計算）統計のスタイルと整合的な業種別データ等が考えられるが、そこまでハードルを上げてしまうと、なかなか超長期の歴史分析はできないかもしれない。それゆえもう少しハードルを下げるなら、各商品の流通に関わる事業者の実態を個別に反映したデータや情報が、商業分野における必要文献に該当するだろう。そしてこの種の文献を駆使した商業研究は、一見すると上記のSNA統計とは直結しづかぬように思えるかもしれないが、個別情報の積み重ねによってSNA統計の基本的特徴を把握することができる

点では無関係とはいえない。筆者は最近、書評の対象として扱った研究成果に江戸期商業の多角的な分析があるが、そこでは個別商人・店舗のデータベースを作成していた。このような作業をおこなうにあたって、幕府による商人・店舗情報の収集・整備は遅れていたが、代わりに民間部門等で発行された各種商人名簿が比較的豊富に残されていたため、それらから作成された田中康雄編『江戸商家・商人名データ総覧』全7巻（データ総数7.4万件）を利用することで、上記のデータベースを作成していた。「歴史研究とはそんなもの」と割り切ることもできるが、できれば情報収集に余計な苦労はしたくないのが本音である（詳しくは、谷沢「書評・山室恭子『大江戸商い白書』」『社会経済史学』第82巻第4号、2017年を参照）。

このような苦労を重ねた近世のことを思えば、近代についてはすでにクロスカルチャー出版が『商工信用録』（主に東日本の情報）、『商工資産信用録』（主に西日本の情報）といった、定評のある信用調査資料を復刻するなど、研究者にとって恵まれた環境が整えられつつある。そしてこの復刻資料シリーズも、ここきてようやく「真打ち」が登場した。すなわち昭和戦前

期の平時に入ってきたことで、蓄積された分厚い先行研究とすり合わせることで可能となり、分析の幅が大きく広げられることになる。これらの復刻資料を縦横に活用することで、SNA統計の個別推計といった究極の目的に近づいてほしいものである（本資料は当然、経済史研究以外にも活用できるが、筆者の研究分野に即して私見を述べたものである。この点を念のため付言しておくたい）。

【日本経済調査資料シリーズ⑤】  
『明解企業史研究資料集 第1・2・3回配本 全10巻』  
編集・解説 佐々木 淳（龍谷大学教授）  
■体装 B5判・上製・約五、〇〇〇頁  
■本体 四一〇、〇〇〇円 好評発売中  
※第1回配本 旧外地企業編 全4巻、第2回配本 総合商社・大商店関係会社編 全3巻、第3回配本 繊維産業編 全3巻

【日本経済調査資料シリーズ⑥】  
『昭和初期 商工資産信用録 第II期 全12巻』  
■体装 B5判・上製・約八、五〇〇頁  
■本体 第一回（全4巻）二一〇、〇〇〇円  
■第二回（全4巻）二一〇、〇〇〇円  
■第三回（全4巻）二一〇、〇〇〇円  
※【日本経済調査資料シリーズ①】  
『全国工場鑑山名簿』  
※【日本経済調査資料シリーズ②】  
『日本経済調査資料シリーズ②』  
※【日本経済調査資料シリーズ③】  
『日本経済調査資料シリーズ③』  
※【日本現代史シリーズ④】  
『伊方原発設置反対運動 裁判資料 全7巻』  
※【日本現代史シリーズ⑤】  
『西脇順三郎研究資料集 第1・2回、全6巻』  
※【日本現代史シリーズ⑥】  
『近代日本語教科書選集 第1・2・3回配本 全14巻』

【日本現代史シリーズ②】  
『西脇順三郎研究資料集 第1・2回、全6巻』  
編集・解説 藤正宏（福島大学名誉教授）  
■体装 B5判・上製・約三、九〇〇頁  
■定価 一七八、〇〇〇円 在庫僅少  
【統計学】草野心平研究資料集  
小社のロングセラー!!  
第1・2・3回配本 全14巻

【日本現代史シリーズ③】  
『近代日本語教科書選集 第1・2・3回配本 全14巻』  
編集・解説 李長波（同志社大学准教授）  
■体装 B5判・上製・約七、〇〇〇頁  
■定価 三七〇、〇〇〇円 在庫僅少

【日本現代史シリーズ④】  
『伊方原発設置反対運動 裁判資料 全7巻』  
編集・解説 安田純治・藤正宏  
■体装 B5判・上製・約四、一〇〇頁  
■本体 第一回配本（全3巻）一五〇、〇〇〇円  
■第二回配本（全4巻） 八〇〇円

【日本現代史シリーズ⑤】  
『西脇順三郎研究資料集 第1・2回、全6巻』  
編集・解説 藤正宏（福島大学名誉教授）  
■体装 B5判・上製・約三、九〇〇頁  
■定価 一七八、〇〇〇円 在庫僅少

【日本現代史シリーズ⑥】  
『近代日本語教科書選集 第1・2・3回配本 全14巻』  
編集・解説 李長波（同志社大学准教授）  
■体装 B5判・上製・約七、〇〇〇頁  
■定価 三七〇、〇〇〇円 在庫僅少

【日本現代史シリーズ⑦】  
『伊方原発設置反対運動 裁判資料 全7巻』  
編集・解説 安田純治・藤正宏  
■体装 B5判・上製・約四、一〇〇頁  
■本体 第一回配本（全3巻）一五〇、〇〇〇円  
■第二回配本（全4巻） 八〇〇円

# クロス文化

クロスカルチャー出版  
101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-7-6  
電話03-5577-6707  
ファクス03-5577-6708  
http://crosscul.com

## 「IT教育最前線、教育現場の改革」

こころ、二年教育分野が大揺れである。文科大臣の方針が次々と変わり、来年から実施される大学入学共通テストに混乱が生じているためだ。雑誌『すばる』（二〇一九年七月号）は、教育が変わる、教育を変えるというタイトルで特集を組んでいる。大学入試改革、予算緊縮、格差拡大、管理型教育の推進とひびきみに対して今求められるのは？一読して考えさせられることが多々あった。

さて、今回の冒頭エッセイは、小社の顧問的存在でもある横浜国立大学教授の高橋寛人先生（教育行政・日本教育史）に最近のIT教育について寄稿してもらった。

提唱した。これまで人類は、狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）を経てきた。現在は、次のSociety 5.0に移行している最中である。Society 5.0では、ビッグデータ、AI (Artificial Intelligence)、人工知能、IoT (Internet of Things)、ロボット、ブロックチェーン、第5世代移動通信システム(5G) など、様々な先端技術によってサイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）が融合して、人間の生活が革命的に転換する。EdTech

では、教育や学校はどのような変わるのだろうか。教育にイノベーションを起こす新しい先端技術をEdTech（エドテック）という。Education-Technologyを組み合わせた造語である。高

度な先端技術が低コストで利用できるようになるため、教育の分野でも根本的かつ加速的に変革が進行する。Society 5.0の時代には、コンピュータやスマートフォンをはじめとする電子機器はもろろん、あらゆるものにセンサーがついてインターネットとつながり、膨大な情報がデジタルデータとしてクラウド上に蓄積される。小学校・中学校・高校時代を通じて、学校・家庭・塾での子どもたちの詳細な学習記録もクラウド上に集積していく。スタディ・ログ (Study Log、学習履歴) である。多くの子どもたちの膨大なスタディ・ログの蓄積をAIで分析することによって、教育・学習の科学的な解析や研究が可能になる。また、一人ひとりの子どもについても、小学校入学時あるいはそれ以前の蓄積された情報をAIが分析することによって、子どもの学習スタイルや興味関心など、様々な特性を解明できる。

スタディ・ログをふまえて、それぞれの学習者に応じて学習到達度や進度さらには興味・関心に則した問題・課題を提示できる。すなわち、一人ひとりの子どもに最適な学習プログラムを提供することが可能になる。これは、学習の個別最適化 (Adaptive Learning) と言われる。また、オンライン授業によつ

て、遠く離れた学校の教室をつないで合同授業をすることもできる。オンラインで授業を受けられるのであれば、学校に行かなくても自宅から授業に参加できるようになる。すでに大学レベルでは、国内国外の講義をオンラインで視聴でき、MOOC (Massive Open Online Course) が広がっており、試験やレポートで一定の水準をクリアすれば履修証明も得られる。

一斉授業の問い直し EdTechによって、学級ごとの一斉授業を基盤としてきた従来の学校制度が変革する。もともと、近代以前の教育機関では一斉教授は行われていなかった。例えば、寺子屋では、年齢の異なる子どもたちがそれぞれ別々のことがらを勉強した。7歳の子どもが論語を暗唱していると、寺子屋に入塾したばかりの8歳の子どもが「いろは：」のひらがなを練習していたり、その隣では10歳の子どもが『商売往来』を勉強していたのである。課題を終えたと教師のところに行って個別に指導を受ける。個人指導であるから、寺子屋に黒板は無いし、机の向きも同じではない。寺子屋とは、いわば「家庭教師の共同利用」であった。学習内容も学習方法も子どもによって異なっていたのである。

近代に入って義務教育制度を導入しようとする時、寺子屋方式では膨大な人数の教師が必要となってしまう。様々な年齢の子どもたちに別々のことがらを勉強させる場合、一人の教師が一度に教えられる子どもの数は、どんなに多くても10人が限界である。そこで、同年齢の子どもたち数十人をまとめて1つの学級をつくり、一人の教師が同じ内容を同時に教えるという一斉授業の授業形態をとらざるを得なかったのである。

一斉授業では、学級の児童生徒一人ひとりの興味・関心や理解度にあわせた教育を行うことは不可能である。しかし、EdTechによって個別最適化の学習が可能になれば、学級単位の授業は必ずしも必要でなくなる。オンライン授業なら、前述のように、学校に通わなくても授業を受けられる。学級や学校の在り方が根底から問い直されるのである。個々の子どもに最も適した学習プログラムがオンラインで提供されれば、世界中いつでも、どこにいても学ぶことができるようになる。高校で習う古典文学の勉強をする小学生や、大学院レベルの数学を独学で学ぶ高校生も出てくるだろう。他方、学習意欲が乏しい子どもが一人で自ら学ぶことは困難である。そのような子どもたちは、学校に来て、教師からの指導やげま



Crossculture Publishing Company Ltd.

しを受けて学ぶことが必要とな

日常的な個人学習情報の集積

現在すでに、学びの記録を電

ポर्टフォリオ(e-Portfolio)

されるようになるかもしれない。

検定の合格証明書や表彰状など

は写真に撮って収録されるだろ

う。デジタル社会では、様々な

知識はBleedを利用した個別学

習によって能率的に習得し、学

校では主に教科横断的なプロジェ

クトを共同で探究することが求

新刊案内

実践的で学術的価値の高い各学

校のカリキュラム冊子を復刻

【日本現代史シリーズ⑧】

戦後初期コア・カリ

キュラム研究資料集

第2回配本 西日本編 全3巻

第4巻 近畿1(昭和2223)

第5巻 近畿2(昭和2223)

第6巻 中国四国、九州(昭和

29年)

【推薦】

推薦します

筑波大学名誉教授 山口 満

コア・カリキュラムは、戦後

初期における民主主義教育の理

念に立つ教育改革運動において、

その先駆となる重要な役割を果

たした。その理論と実践は、日

め、その後に残した課題を明ら

かにすることが、カリキュラム

改革のための理論的、実践的な

研究に未来への展望を拓くこ

【推薦】水原克敏(東北大学名誉教授)

元日本カリキュラム学会代表理事

高橋寛人(横浜国立大学教授)

【推薦】

寺崎昌男(東京大学・桜美林

大学・立教大学名誉教授)

高橋寛人(横浜国立大学教授)

【推薦】

寺崎昌男(東京大学・桜美林

大学・立教大学名誉教授)

高橋寛人(横浜国立大学教授)

日本現代史シリーズ⑥

教育刷新審議会

配布資料集 全4巻

【推薦】

寺崎昌男(東京大学・桜美林

大学・立教大学名誉教授)

高橋寛人(横浜国立大学教授)

【推薦】

寺崎昌男(東京大学・桜美林

大学・立教大学名誉教授)

高橋寛人(横浜国立大学教授)

日本現代史シリーズ⑦

戦後初期コア・カリ

キュラム研究資料集

第1回配本 東日本編 全3巻

【推薦】

寺崎昌男(東京大学・桜美林

大学・立教大学名誉教授)

高橋寛人(横浜国立大学教授)

【推薦】

寺崎昌男(東京大学・桜美林

大学・立教大学名誉教授)

日本現代史シリーズ⑧

戦後初期コア・カリ

キュラム研究資料集

第2回配本 西日本編 全3巻

【推薦】

寺崎昌男(東京大学・桜美林

大学・立教大学名誉教授)

高橋寛人(横浜国立大学教授)

【推薦】

寺崎昌男(東京大学・桜美林

大学・立教大学名誉教授)

日本経済調査資料シリーズ④

明治大正期 商工信用録

第1期 全15巻

【推薦】

阿部武司(大阪大学

名誉教授・国士館大学教授)

【推薦】

阿部武司(大阪大学

名誉教授・国士館大学教授)

【推薦】

阿部武司(大阪大学